

令和5年度米子市文化ホール運営委員会議事録 概要

令和6年2月22日（木）

13:30～15:30

米子市役所4階 401会議室

1. 開会

2. 挨拶

原文化振興課長挨拶

3. 会長、副会長の選出

会長に清水泰委員、副会長に木田ますみ委員を選出

4. 議事

(1) 令和5年度管理業務及び事業の実施状況について報告

(委員) 公会堂ホの利用状況は。

(公会堂) 虹の広場とホワイエで開催。コロナ禍中は距離を取らないといけないので大ホール内で行っていたが、本来は身近に音楽を感じてもらおうことを目指して、ロビー（ホワイエ）で行っている。今年度は本来通り開催できた。

(委員) ハロウィンパレードの参加者数300人はパレード参加者数か。実際の参加者数はもっと多いのでは。

(公会堂) パレードに仮装して参加した人数。同日に近隣のひまわり駐車場で行われていたマルシェに来た人や、仮装を見に来た人もいる。

(委員) 昨年、自分の所属する団体がコンサートを開催した際に、事前の打ち合わせで定員を厳格に管理するように施設から言われた。過去に定員オーバーになりかけて、主催団体と施設でやり取りがあったとのことだった。文化ホールの対応は具体的にどうされているのか。

(文化ホール) 定員ギリギリまで入っていただけが、それ以上はお断りしている。チケット販売の時に、ある程度目安を付けて状況を把握しながら販売している。

(委員) 積雪の際、歩道のほうがかき切れていないので、もう少し力を入れていただきたい。特に横断歩道周辺はかいた雪をまとめてあり非常に危険なので、何とか対策を出してほしい。また、大きなコンサートだと道路が混み合うので、駐車場対策をしてほしい。南北自由通路の南側の駐車場を案内できないか。高校生の関わる冬のイルミネーションについては、施設側から提案してイベントを行っていると思われるが、今の中高生はボランティアに積極的なので、若い世代を取り込むような対策を取ってほしい。

(文化ホール) 雪については、広場は基本的に人力での雪かきだが、横の部分はコンベンションセンターと連携している。できるだけ除雪車や除雪機をコンベンションセンターから

借りて迅速に除雪できるようにしている。交差点付近は除雪車が通った後に雪の山や水たまりができてしまう。なるべく雪の塊は崩すようにしている。

(事務局) 自由通路南側の駐車場は今後周知するようにする。

(文化ホール) 学校ボランティアについては、3 ホールの広報紙の表紙イラストを米子高校に毎月掲載してもらっているほか、コンベンションセンターで美術展も行っている。文化ホールでは花壇の植え替えを米子高校園芸部が担当しており、自分たちでアレンジしてもらっている。イルミネーションなどの際にも高校生は多く来られているので、一緒に企画をするというような提案もできるかもしれない。

(2) 最近5年間の運営状況の推移について報告
質疑応答なし。

(3) 令和6年度事業計画(案)について

文化ホールより3館まとめた事業計画を説明。

(委員) 文化ホールのリノベーションについて、市の考えはいかがか。

(事務局) まだ具体的な計画は無い。駅前全体で考え、ホールが今後どのように使われていくのか検討していきたい。当面は必要な箇所の修繕をしつつ、活用について考えていく。また、利便性向上のため、文化ホールのメインホールにはWi-Fi環境の整備を検討している。オープンスペースには、ガラス片等の落下防止のため、5年度中に強度の高いネットを設置予定。

(委員) 全面改修は非常に難しいと思うが、利便性が高い場所なので、将来的には検討してほしい。また、公会堂1階の座席について、1階のホワイエから入って2階へ上がる手段がない。何度も伝えてきたが、何か検討されないのか。

(公会堂) 壁に沿って1階から2階に移動出来ればよいが、壁際ギリギリまで椅子が迫っている状態。座席を外すとその分座席数が減ると、可動式の椅子ではない。もし対策するとすれば、本格的な工事が必要。前のほうの椅子は可動式だが、全面が可動式ではない。

(委員) 通れたら非常に便利。私だけでなく、主催者からも言われているので、検討してほしい。

(委員) 文化ホールをひとつのツールとして地域とつながるという考えに非常に共鳴した。文化ホールというと演奏会など音楽のイメージがあるが、カルチャーの多様性がほしい。例えば、近隣の彫刻、地域の小説を書く方など。学校のニーズとも上手く合わせてほしい。

(委員) Wi-Fiを導入するとのことだったが、ライブ等のオンライン配信は検討しているのか。

(公会堂) 今は予定なし。ただ、コロナ禍において、オンライン配信が非常に重要なツールであることがよくわかったので、今後そういった事業が出る可能性はある。

(委員) 生のライブが一番良いと思うが、配信がきっかけで、現地に足を運ぶことにも繋がる。米子市のアーティストを育成・支援するという意味では、県外に出てオンラインライ

ブ配信をすることもあると思う。ライブ配信専門の業者に依頼すれば、機材一式を会場に持ち込んで設営していただけたらと思うが、会場のオンライン配信用設備がある程度揃っているほうが、使う側としては前向きになると思うので、検討をお願いします。

(委員) 自分も Web 講座を開くことがあるが、なかなか現場の熱量が伝わってこない。一つのツールとしてなくてはならないものだが、基本はライブ会場の楽しさを求めたい。

(4) その他 (各館ごとに事業計画について説明)

質疑応答なし

5. その他

(1) モニタリング評価について

モニタリング評価制度について事務局から説明。

(2) その他

(委員) ユースオーケストラについて、鷺見先生のほかにも活躍された方が多くいる。そういった方にもスポットライトを当ててほしい。また、米子市文化ホールについて、駅に近いので、他の地域からも来て頂きやすいと思う。他の地域への文化ホールの PR はどのように行っているのか。

(文化ホール) 事業の PR のため、3 館の情報誌を毎月県外の文化施設や行政関係施設に配布している。チラシ配架の際は、基本的には市内公民館や学校に配っているが、境港市や安来市、場合によっては松江市にも配布範囲を広げることがある。安来や松江までは十分圏域になると思う。東のほうだと倉吉までは配布できると思う。新聞メディアの面では、鳥取側だと日本海新聞中心に告知、もう少し島根のほうに告知したい場合は山陰中央新報に告知を依頼する。日本海新聞の中でも情報誌によっては配布エリアが異なるので、イベント内容によって使い分けたい。できるだけ中海・宍道湖・鳥取県中部を圏域と考えて配布を広げていきたい。

(委員) 駅に近いということを PR してほしい。

(文化ホール) 最近は SNS も活用している。例えば、インスタグラムは広告する際に年齢層等で広告の対象者を絞ることができる。できるだけ情報発信に漏れがないようにしたい。

(委員) この意見に同調する。文化ホール前に商業施設があること、駅に近いこと、近くに立体駐車場があることがメリット。こういった施設はなかなかない。メリットをもっと PR すべき。

(事務局) 神庭委員の鷺見三郎先生のご親族のことについて補足。鷺見三郎顕彰事業実行委員会が来週月曜日にあるので、出席願いたい。その場でもう一度その話をしていただければと思う。

(委員) 音楽イベントは親しみやすいため情報がたくさん入って来るが、演劇事業はほぼない。演劇関係の情報収集をしてくださる方、演劇の話を知ってくださる方がホール側におられると助かる。

(文化ホール) 確かに情報そのものが少ないのかもしれないが、どこでどんな演劇をされているか我々も把握できていないと思われる。中村委員からも情報いただければ。我々も情報収集して

いきたい。

(委員) 長谷川泰二さんが、岡本おさみの記念碑を建てたいと言われているが、うまく協働されているか。たとえばコンサートを行うなど、何か動きはあったか。

(文化ホール) ホール側と米子市と合わせて一緒に何かできないという話があった。

(事務局) 岡本おさみを語る会が令和5年4月に設立された。会議には文化振興課のほうからも毎回参加しており、実際に今進めているのは顕彰する記念碑を建てる計画で、クラウドファンディングで資金集めを行っている。記念碑の候補地は、会の意向では文化ホール前の広場の片隅か公会堂の前庭という希望は出ている。市が記念碑建立に協力する方向で進めているが、建立後は文化ホールか公会堂で岡本おさみテーマのコンサートを開催する構想があるので、施設のほうとの関わりがでてくると思われる。

(委員) 米子市のにぎわい創出にも関わることだと思うので、また情報をいただきたい。

(事務局) ちなみに、広報よなご2月号の裏表紙に、その件で長谷川泰二さんにも出ていただいている。

(委員) 中村委員の言われる通り、音楽に比べて、演劇や芸能等の舞台芸術の開催が少ない。音楽は見た目が派手だが演劇関係は地味なイメージ。文化ホールには所作台があるが、所作台を持っているホールは少ないので、活用していただきたい。

6. 閉会